

世界クラスの技術学ぶ

上町(盛岡)らが指導

ハンドボール女子のルウェーリーグ2部「ヨウウィック」に所属する



中学生にサイトからのシートの手本を示す
内林総業選手(中央)・花巻市総合体育館

生向けクリニックは1日、花巻市総合体育館で行われた。ノルウェーは五輪や世界選手権でも優勝経験がある強豪国。市内外の約50人が世界トップクラスの技術と心構えを学んだ。

花巻、花巻北、厨川のハンドボール部員が参加。チェアで体を固定してシートを打ったり、椅子から立ち上がり、すぐに投げる体勢に入るメニューなど、普段とはひと味違う練習に刺激を受けていた。両選手も自ら動いて見ながら約2時間に渡り熱心指導した。

花巻中の石亀萌夏さん(3年)は「やったこと

のない動きもあって楽しかった。もっと練習して試合でも試したい」と目を輝かせた。

クリニックは来年の若手団体や来月開市で行われる全国中学校ハンドボール大会などの盛り上げを図ろうと市協会が企画した。

神奈川県大和市出身の内林選手は東日本大震災直後の2011年7月、当時所属していたドイツのチームの選手、サポーターらからの義援金を陸前高田市に届けた縁で、以降毎年本県を訪問。上町選手は大学の後輩で、昨年に訪れた人の指導会が実現した。内林選手は「今後でもできる限り活動を続けていきたい。競技ができて多くの感謝を恐れず、楽しんでほしい」とエールを送った。

- 盛岡市・盛岡聖公会障がい者
- ◇1部男子△800分 ①盛岡一 成(盛岡・準大)1分56秒
- ②舟木天(盛岡・準大)1分56秒
- ③吉田優(花巻・準大)1分56秒
- ▽110分 障壁 ①水谷健介(盛岡・準大)15秒14
- ②坂本真(盛岡・準大)15秒28
- ③佐々木良太(滝沢・盛岡大)15秒38
- ▽1600分 障壁 ①盛岡市(山形二真)佐藤隆(高岡二成)坂本真(盛岡)3分20秒
- ②盛岡市3分23秒
- ③花巻市3分23秒
- ▽1万分 障壁 ①盛岡和生(奥州・早大)43分20秒
- ②松村広樹(花巻・準大)44分2秒
- ③多田裕(盛岡A)54分35秒
- ▽接点跳び ①藤原樹(北上・仙台大)4分48秒
- ②藤原拓真(西和賀・早大)4分48秒
- ③三宅北上(仙台大)4分47秒
- (1-2母は試技による)
- ▽守り觸球 ①田中裕丸(北上・早大)7分56秒
- ②内田洋文(盛岡・準大)7分35秒
- ③池田風(盛岡)7分28秒
- ④池田風(盛岡)7分28秒
- ▽守り触球 ①盛岡政(北上・早大)6分54秒
- ②三浦幸平(盛岡)6分54秒
- ③後川和(石)6分54秒
- ④石川大(石)6分54秒
- ◇各種選手△100分 ①盛岡市(盛岡)10秒56
- ②盛岡市11秒08
- ③岩手県

海外リーグに手応え

ノルウェー女子リーグ2部「ヨウウィック」の上町史織に新天地での手応えなど聞いた。(闘争力は運動部・及川 慶)

「おらためて海外移籍を考えた理由は、「ロンドン五輪世界最終予選(2012年5月)に出場し、切符を取れなかった。国際試合では体の強い海外選手に慣れるうちに大会が終わってしまっこともあった。日本

上町(ヨウウィック2部)に聞く

を出て、常に強い選手とは、いれば身につけられるものがあるだろう。厳しい環境に自分を置きながら、自分自身を鍛えたい」と上町選手は、海外移籍の思いを語った。

「10代でもストイックな選手が多い。食事や体のケアにも気を使い、意識が日本と違う。アートを楽しくも心を持って、負けず嫌いで、みんな練習がら必死だ」

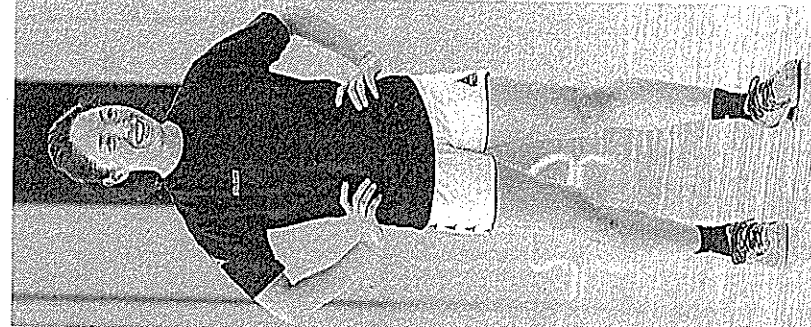
「心掛けているアト

「チームは30代は(内林)選手、自分を含め3人くらい。シートコースを空けたり守備のフアローに入ったり、若い子がミスを恐れず、思い切り動けるよう意識している」

「体格では負けるので相手に体を触れさせないよう、速い動きとしゃつエイムなどフットワークを勝負している。やれる手応えもある」

「来年はよりオアシヤネイロ五輪、若手団体が控える。今年秋に五輪予選がある。海外に出てからは代表入りしていないが、呼ばれれば行く準備は常にしている。また日の丸をつけて戦いたい」

「(団体は)シートと重なるので出場できるかはまだ分からない。ただ地五開催は一生のうちには何度もあるわけじゃない。選手のために、少しでもいい気持ちを持ってほしい」



ノルウェーで3番目のシート入りを迎える上町史織。「欧州の選手と戦える手応えもある。また成長を遂げ、また日の丸をつけて戦いたい」と意欲をみせた

上町 史織(かみまち・しおり) 盛岡二高、国土館大を経て北国銀行入りし、日本リーグでは12~13シーズンまで6季連続ベストセブンに選出された。09、11年世界選手権日本代表。14年1月からヨウウィックに移籍した。

